

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回朝霞市・和光市ごみ処理広域化協議会	
開 催 日 時	令和元年 12月3日(火) 午後 3時00分から 午後 3時20分まで	
開 催 場 所	和光市役所3階 庁議室	
出 席 者	(和光市) 松本市長、大島副市長 (朝霞市) 富岡市長、關野副市長 (事務局：ごみ処理広域化プロジェクトチーム) 福島リーダー、鈴木サブリーダー、高野メンバー、芝垣メンバー (和光市：担当) 中蔦市民環境部長、清水統括技術監 (朝霞市：担当) 宮村市民環境部長、紺清市民環境部参事兼資源リサイクル課長、 渋谷資源リサイクル課主幹 (委託業者・パシフィックコンサルタンツ(株)) 長谷川氏、尾形氏、越山氏	
会 議 内 容	(1) 広域化シナリオについて (2) 新一部事務組合概要について (3) その他	
会 議 資 料	資料1 ごみ処理広域化シナリオ(案)について 資料2 新一部事務組合規約(案)について 別添資料1 新組合組織体制(案)について	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管(保存年限 年)	
	電磁的記録から文書に書き起こした 場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法：会長(和光市長)決裁	
そ の 他 の 必 要 事 項	傍聴者 2人	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【開会】

（司会：清水統括技術監）

- ・清水統括技術監あいさつ

（議長：松本市長）

- ・本日の会議を公開とすることに異議はないか。

（委員意見等）

- ・異議なし。

【傍聴希望者の入室】

- ・傍聴希望者2名

【議題（1）広域化シナリオについて】

（事務局説明）

「資料1 ごみ処理広域化シナリオ（案）について」

- ・新たな一部事務組合の設立を踏まえた効率的な共同処理の実現に向けて、将来的に全てのごみ種を対象として共同処理を行う。また、令和10年度の稼働を最優先事項とする。
- ・令和10年度の稼働を目指す「共同処理施設の対象ごみの範囲」は、可燃ごみ、不燃・粗大ごみを含む「シナリオⅡ」を採用する。
- ・コスト面、不燃・粗大ごみ処理施設から発生する可燃残渣への対応、交通集中による周辺環境への影響などについて検証を行い、「シナリオⅡ」について総合的に妥当性があると判断できる。

（委員意見等）

- ・異議なし。

【議題（2）新一部事務組合概要について】

（事務局説明）

「資料2 新一部事務組合同規約（案）について」

「別添資料1 新組合組織体制（案）について」

- ・組合名称を「（仮称）朝霞和光資源循環組合」とすることを提案する。
- ・組合設立の管理者は建設地の長（和光市長）とする。
- ・新ごみ共同処理施設（可燃ごみ、不燃・粗大ごみ）稼働後の最初の管理者は建設地の長とし、以後2年おきに副管理者と交代する。また、常任副管理者は設置しない。

- ・会計管理者は、副管理者の属する市の会計管理者が併任する。
- ・職員については、新組合設立時は各市4人ずつの人員配置を想定する。

(委員意見等)

- ・異議なし。

(鈴木サブリーダー)

- ・組合名称について、事務局に委任して頂いてもよろしいか。

(關野副市長)

- ・施設の機能が分かる組織名が妥当であると思ったが、3R（リデュース、リユース、リサイクル）等を図るという意味合いからも、事務局提案の「資源循環組合」を採用しても良いと思う。

(松本市長)

- ・仮称としておいて、今後さらに議論を深めれば良い。

【(3) その他】

(富岡市長)

- ・令和10年度の稼動を最優先事項とするとのことだったが、朝霞市の施設の延命化が厳しい状況であるため、令和10年度以前の稼動が可能か検討いただきたい。また、新施設自体も過大な施設とせず、建設用地も必要最小限となるようにしていただきたい。

【閉会】

清水統括技術監あいさつ